

超音波診断装置発注仕様書

Apliofrex CUS-AFL00/jj

納入場所 東京都神津島村 1009-1 東京都神津島村国民健康保険直営診療所

納入期限 令和7年1月31日

調達物品名及び構成内訳

超音波診断装置	一式
(構成内訳)	
1. 超音波診断装置本体	1 台
2. プローブ	
2-1 コンベックスプローブ	1 本
2-2 リニアプローブ	1 本
2-3 セクタプローブ	1 本
3. 周辺機器	
3-1 白黒プリンタ	1 台

以上、搬入、据付、調整、取扱い説明などを含む。

調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

超音波診断装置は以下の要件を満たすこと。

1. 超音波診断装置

1-1 超音波診断装置本体は以下の要件を満たすこと。

1-1-1 超音波ビームの送受信はフルデジタル制御されていること。

1-1-2 画像表示モードはB(2D)モード法・カラードプラ法・パワードプラ法・パルスドプラ法・連続波ドプラ法が可能であること。

1-1-3 カラードプラ・パワードプラに加えて、高精細血流表示機能を備えていること。この機能による血流方向の色分けも可能であること。

1-1-4 2次高調波を利用して画像を観察できるティッシュハーモニックイメージング(THI)法において、フィルタ法・位相反転法(Pulse Subtraction 方)により描出可能であること。さらに、2つの周波数を合成して送信し、差音と高調波を位相反転法に

より描出する **Differential** 法が可能であること。

- 1-1-5 コンパウンド技術により、超音波の干渉（スペckルパタンまたはスペckルノイズ）の低減や生体組織内の境界の明瞭化および音響シャドウの低減が可能であること。
- 1-1-6 画像処理により構造物をより明瞭に表示する機能を有すること。
- 1-1-7 2D の表示輝度(**GAIN**)をフリーズ後、および保存画像でも変更調整可能であること。
- 1-1-8 **STC** は体表からの深さ方向に **8** 段以上、画像の横方向に **6** 段以上の調整が可能であり、タッチスクリーンで操作可能であること。
- 1-1-9 **GAIN** や **STC** の自動調整機能を備えており、リアルタイムに常に自動調整されること。また、パルスドプラモードではスケールとベースラインシフトの自動調整機能を備えていること。
- 1-1-10 コンベックスプローブで最大 **100** 度程度まで視野角を広げる機能を有すること。
- 1-1-11 観察モニタのサムネイルエリアには、現在の検査で収集した画像データおよび現在検査中の患者の過去検査データを表示できること。画面のサムネイル上にカーソルを合わせることでプレビュー画面が表示されること。サムネイルエリアはモニタ左右どちらにも表示可能であること。
- 1-1-12 多機能な操作性を向上させるため、**10.1** インチ以上のタッチパネルを採用していること。
- 1-1-13 キーボードは引き出し式で、使用しない際はパネル下段に収納可能であること。
- 1-1-14 観察モニタは **21.5** インチ以上の取っ手付き大型液晶モニタで、**Full HD(1920×1080)**以上の解像度を有すること。
- 1-1-15 超音波ゼリーを温める機能を有すること。**2** 段階以上で温度調整が可能であること。
- 1-1-16 装置本体の大きさが、幅 **520mm** 以下、高さ **1500mm** 以下、奥行 **605mm** 以下であり、装置本体の重さは **53kg** 以下であること。

2. プローブ

- 2-1 コンベックスプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-1-1 プローブの周波数帯域は **2.0～6.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-1-2 視野角は **65°** 以上であること。

- 2-2 リニアプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-2-1 プローブの周波数帯域は **4.5～14.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-2-2 視野幅は **35mm** 以上であること。

- 2-3 セクタプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-3-1 プローブの周波数帯域は **2.0～4.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-3-2 視野角は **85°** 以上であること。

3. 周辺機器

3-1 白黒プリンタは以下の要件を満たすこと。

3-1-1 超音波診断装置本体に接続可能な白黒プリンタであること。

既存機器撤去・廃棄（値引額に含むこと）